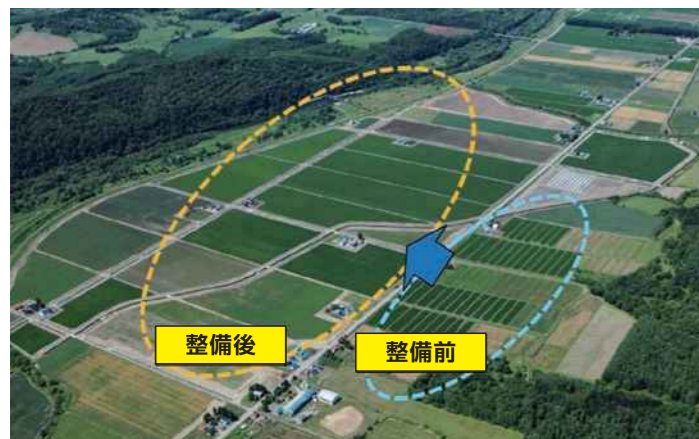


農業に関わる仕事

私たちと一緒に北海道の農業の基盤を作り、
未来の食を支えませんか？



大規模に整備された農地【愛別地区】



農地の大区画化

農業収益力の向上、担い手への農地集積のため、農地を大区画化します。



用水・排水の整備

農業用水の安定供給、洪水や排水不良による被害防止のために、用排水路等を整備します。



災害からの復旧

地震等により農業用の施設が被災した場合、迅速かつ適切に復旧します。



永井 公貴

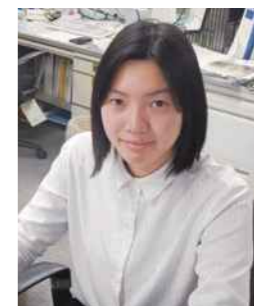
NAGAI NAOKI

卒業・修了 北海道岩見沢農業高等学校 卒業
試験区分 一般職(高卒者)試験 農業土木
採用年度 2015年採用
現所属 本局 農業水産部 農業設計課

私は、入局から2021年度までの7年間に主に農地再編整備事業を担当し、現場監督、設計積算(工事設計図をもとに工事費用を計算する業務)、地元調整などを行いました。農地の大区画化・集約化、排水不良の解消などを目的とした工事を行うことで、スマート農業による農作業の効率化や生産性の向上に貢献しました。その他にも、ダム、頭首工、用排水路といった農業施設の整備にも携わることができました。日本の食料供給を支えている北海道農業の基盤整備を担当することで、日本の食を支える技術者として胸を張って仕事ができる魅力を感じました。

現在は、農業部門の組織に関する業務を担当しています。組織全体のマネジメントを行うとても緊張感とやりがいのある業務です。事業の実施とは違う視点で、北海道開発局という組織を見渡すことができます。

このように、入局後わずか数年間に、多様な業務を経験できることも魅力だと思っています。



山野 優希

YAMANO YUKI

卒業・修了 日本大学 卒業
試験区分 一般職(大卒程度)試験 農業農村工学
採用年度 2020年採用
現所属 室蘭開発建設部 農業開発課

現在私は、農業農村整備事業を行うための調査・計画を担当しています。

事業を行うにあたり、対象となる地域の農業の現状や課題、将来の方向性等を現地調査や関係機関との打合せを通じ把握・検討し、事業計画を立てていくことが仕事です。

デスクワーク以外にも現地に行くこともあり、農地や水路の状況を実際に見て確認したり、農家の方から直接話を聞くことで、新しい知識を身につけるとともに、その経験が自らの成長にも繋がるので、やりがいを感じています。

また、業務を進めるうえで行き詰まることもありますが、上司や先輩方からサポートしていただけるので、とても仕事のしやすい環境となっています。